

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すりーびーす 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 18日		～ 令和7年 9月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年 8月 18日		～ 令和7年 9月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 8月 9日		～ 令和7年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PT・OT等の専門職による支援を行う事が出来る	利用者の評価を行い、適切な支援になるように検討している 利用者にあった道具、椅子等の環境設定を検討している	支援者に伝わり易い様に必要に応じて頻度を増やし、情報共有を図る
2	長期的に児童に関わっており、事業所での様子を含めて情報共有することが出来る また児童の環境が変わった(園から小学校に進学した場合等)場合でも今までの情報の共有が可能である	事業所での評価も含めて、園・学校の先生と情報共有を行っている 事業所内でも担当者と情報共有を行いながら取り組んでいる	訪問支援と放課後等デイサービスでの本人の様子の情報共有を図り、より多面的な支援を検討する
3	保護者と情報共有を行う事が出来ている	放課後等デイサービスや児童発達支援の利用時に保護者が同席しており、その際にも本人の状況について保護者と情報共有を行う事が出来ている。	保護者との情報共有の機会をより意識的に作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問内容を保護者との情報共有する際に時間を要する	訪問内容の共有は面談、メールや電話も活用して行っている 業務の調整が出来ず、面談等の機会を作るのが遅くなる事がある	各々の保護者と情報共有の方法について共有し、必要に応じて調整する
2	頻度が少ない	他の業務との調整	必要性に応じて頻度の調節を検討する
3			